

| | | | | |
|---------------------------------------|--|------------------------|---------------|----------|
| 事業区分 | 文化芸術事業 | | 鑑賞事業 | |
| 事業名 | ブラック・ボトム・プラス・バンド倉吉公演 | | | |
| 目的・内容 | <p>要望の高いプロの吹奏楽コンサートを開催することで、活動人口の多い青少年を中心に鑑賞者の拡大を図るとともに、スキルアップ・レベルアップに繋げる。</p> <p>(使命)文化人口の拡大とレベルアップ (事業の柱)国内外の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供を目的とした事業、鑑賞公演とワークショップ等を連動させた事業</p> | | | |
| 開催日時 | 平成25年1月27日(日) 開演14:00 | | | |
| 会場 | 倉吉未来中心 小ホール | | | |
| 入場料 (友の会・団体) | 一般 3,500円 (3,000円) | 高校生以下 1,000円 (900円) | | |
| 集客状況 | 入場者数 213名 | 設定席数 289席 | 集客率 74% | |
| 事業費状況 | 予算額 | 収入 671,700円 | 支出 1,515,000円 | 収支比率 44% |
| | 決算額 | 収入 510,900円 | 支出 1,224,462円 | 収支比率 42% |
| 来場者アンケート (主なもの) 回答者数 73名 | <p>回収率33%、満足度77%、新規顧客獲得率26%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年目のバンド。今まで知らなかったのがもったいなく思いました。 ・ライブ感覚で吹奏楽を聴くスタイルが良かった。アーティストと客席との一体感が最高！照明の当て方、色合いも最高！ ・めっちゃめっちゃ楽しかったです！つらい時があったら「わっしょい」で乗り越えます。 ・地元の方とのコラボ、素晴らしいです。 | | | |
| 1次評価 (内部) | <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ事業のワークショップや吹奏楽部員対象のクリニックで、一般の方や地元活動者と出演者の距離を縮める事ができ、本公演へ繋げることができた。中高生にとってプロの演奏者との交流は貴重な経験になった。 ・パフォーマンスのための客席配置の工夫や、音響・照明を財団スタッフが事前視察し当日担当するなど、単なる買い公演ではなく創造的な工夫をする機会としての公演となった。 ・新しい形(県民参加型)の鑑賞公演機会を提供できた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気のある公演や知名度の高いアーティストの公演の来場者を、いかにリピーターとして育成していくかが重要な課題である。 | | | |
| 2次評価 (財団評議員) | <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者やプレ事業参加者への働きかけが集客につながり、口コミの認知度が高かったことは評価できる。 ・来場者に若い世代が多かったこと、新規鑑賞者が3割あったことは、今後同じようなジャンルの事業へ大きく貢献できる。 ・地域演奏家に対するクリニックやワークショップは大きな刺激であり、演奏者の増加や質の向上等に有意義な手立てであった。 ・演奏者と聴衆が一体となるジャズライブ特有の雰囲気を出すために小ホールの開場設定はよかった。 ・メンバーに米子市出身者がいたこと、メンバーが地元鳥取県での公演で気配りしたことで、さらなる成長を期待する。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回収率をもう少し高める手立ての検討が必要。 ・今回の新規鑑賞者を今後の事業へ繋げる手立てを考えていくことが重要。 | | | |
| 今後の対応、 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞公演のプレ及びリピーター育成事業として、ミニコンサートに限らず公開リハーサルやワークショップなどで、よりアーティストやジャンルへ気軽に触れる機会を企画していくべき。 ・今回連携した団体等との継続的な情報交換や、館(未来中心)としての協働を図り、関係を強化していくことが重要。 ・今後の広報のツールとして、特に若い世代を取り込むためのSNSの活用を、事業全般において検討していく。 ・事業全般に取り入れた新しい取り組みを一過性に終わらせることなく、工夫を重ねた継続を行っていく。 | | | |